

- 1 会議名 議会基本条例推進協議会
- 2 日時 令和6年8月20日(火)
午後1時30分から午後2時54分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 議員15名
- 5 欠席議員 なし
- 6 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同主幹 田島勝己
- 7 会長あいさつ
- 8 協議事項

(1) 議会サポーターとの意見交換会内容の確認(7月3日(水)・7月6日(土))について

井上会長: ふれあいトーク記録書に基づき説明。何か意見があれば。

木村議員: 3日と6日で議論の内容が相当違う。サポーターとの最後の意見交換会なので、サポーター制度についての話が出てこないといけませんが、市政の中身に触れる意見が多い。なぜこのようになったのか。

井上会長: サポーターが3日は3人で、6日は13名である。いかがか。

木村議員: 司会者がどのような運営をしたのかということである。議会運営について意見をもらう前提で行わないといけない。サポーターから市政についての意見が出たらやむを得ないが、まずはサポーターをやってきてどうだったのかを聞くのが今回の趣旨でないのか。

片岡議員: 3日は私が司会者だった。サポーター制度についてもお聞きしたが、なかなか意見が出なかった。フリートークになると色々と話が出たのが現実である。

木村議員: 6日に論客が多かったかもしれない。ベテランも多かった。状況は理解した。

井上会長: 分かりやすくなるようにイラストを用いて説明してもらえるとよいという意見があったので、次回のサポーター説明会用に子ども向けのイラストのついた資料を用意した。検討中のものがどのように進んでいるか当局と話をしてほしいという意見も出た。

木村議員: 6日は若い人のサポーター応募をどのように増やすかという議論を多くした。現在は人口の年齢構成に応じて無作為抽出で応募用紙を送付しているが、若者枠を作ったほうがよいという意見があり、画期的だと思った。意見交換会も、大勢の場合は分けたほうがよいという意見もあった。若者枠は来年度以降の課題として検討したほうがよい。

井上会長: 若いサポーターを増やすために若者枠の割合を増やすことについていかがか。

木村議員：今ここで議題にすると大変であるため、今後の課題とすること
いかがか。

井上会長：来年度のサポーターの応募用紙を郵送する前に意見を伺うことと
する。意見交換会は人数が多い場合はグループ分けを行う。記録書の分か
りにくい文言は正副会長で修正する。

(2) チーム会議の報告について

① ICTチーム

関戸議員：資料に基づき説明。予算化の流れであるが、10月の議会運営委
員会で議会費の予算を提案するが、その時までにはどのようにするか決定
しなければならない。項目にはないが保守性も重視した。行政側と同じも
のを使用することでトラブルが起きたときに対応しやすいと考えた。

井上会長：ICTチームとしてはマイクロソフト365がよいという考えが
示された。質問等あれば。

日比野議員：システム機能評価の項目はICTチームで作ったのか、別のど
こから流用したり参考にしたりしたのか。

関戸議員：ICTチームで評価項目を作成し絞った。当初はもっと項目があ
った。

塚崎議員：なぜクラウドサービスに重点を置いたのか。何を想定して重点項
目を決めたのかが分からない。議員の本来の仕事である審議・準備に重き
を置くなら会議システム機能を重視すべきではないのか。クラウドサー
ビスに重きを置くと、結局は紙を印刷しないと勉強できない、本末転倒な
ことになる予感がした。ページ数の多い資料をいかに効率よく自分の学
びに繋げられるかが重要だと私は思うがいかがか。

井上会長：登録文書の閲覧機能を重視する方が良いということか。

塚崎議員：導入して1年目は紙とタブレットが手元にある状態だが、その後
タブレットのみで審議に必要な勉強をしていく想定をすると、タブレッ
トの中のマイクロソフト365の機能ではやり切れないのではと考える。
印刷をしてそこに書き込むことになるのではと予測する。一人会派なの
でラインワークスでまかなえるし、文書の編集作業が同時にできること
の必要性がない。これは会派間でのことなのか。また、資料をキーワード
等で簡潔かつ素早く検索できることは、議員にとってとても重要な機能
ではないかと私は思う。そこが重点項目でなくクラウドサービスが重点
項目になっている理由が分からない。

井上会長：いかがか。

関戸議員：サイドボックスやスマートディスカッションは文書閲覧に特化し

たシステムであるため当然その機能は突出している。しかし、マイクロソフト365も、閲覧機能のうちいくつかは×はついているものの、印刷できないとできないようなことは決してない。

塚崎議員:マイクロソフト365は日常的に使っているなのでその機能は分かって話をしている。議会の資料は20~30ページでなく、電話帳のようなものから素早く探す作業が、自分はかなり苦戦すると思っている。例えば執行機関からの説明にどのスピードで対応していくのか。マイクロソフト365では倍ぐらいの時間をかけて説明してもらわないと追いつかないと思う。どのようにやっていくつもりなのか。

井上会長:ICTチーム、いかがか。

梅村副会長:その辺の議論がどうだったか是非教えてもらいたい。例えば「素早く切り替えが可能であること」がマイクロソフト365ではできない。サイドブックス等ではできる。本来これはできた方がよい。できないが、当局からの説明では、それでも十分対応できると。資料は大抵上から順に来ているので、説明に対しては順に送っていけば遅れることはないのかなと。自分が質問したい時、質疑の中で使う時は、あちこち動くので、追いつくかが心配される。あとは費用対効果も考え、なんとか対応できるのではないかと判断し、どうしてもその時は自分で紙を用意するしかないという議論だったのか。

片岡議員:確かにサイドブックスやスマートディスカッションのページ移動は楽だと感じたが、マイクロソフト365もページ移動は問題ないと感じた。そのため費用対効果も考えてマイクロソフト365が良いのではという結論になった。×となっているが、全くできないわけではなく、操作性では劣るというだけ。そこまで劣っていないと自分は思ったし、チームもそのように思っていると思う。

塚崎議員:ペーパーレス化していくのが目的でシステムを導入するのが最終目的だと思うので、マイクロソフト365では紙を印刷せざるを得ないことが多いのではないかと。今日の全員協議会もすごいスピードで担当者が変わり、メモを取っていると思うが、その操作性を紙のないところでどう実現するのか不安である。

堀江議員:タッチペンもあり、手書きでメモできるようになっていたのも、その部分では大差ないかなと。サーフェスも使用すると手書きで対応できるので、こちらを選んだ。

井上会長:「資料へのメモが容易にできる」の項目は全てに◎がついているので、どれも良いと思う。「素早く切り替えが可能」もマイクロソフト365は×になっているが、できないわけではないので△ではないかとの

意見もあるがいかがか。

塚崎議員：限られた時間で膨大な資料を読み込まなければいけないことが議員の一番大変なところだと思う。私が懸念しているのは、「結局紙を印刷している」という事態が起きてしまうと、その時にもっと他のことに予算を使うべきではないかという指摘を受けかねない。あとはやはり議員の本来の仕事である審議の部分にどう追いついていくかというところ。もう1点、今回予算を請求できるので、安いものを導入してから後から高くするのは難しいと思う。まず使い勝手のいいものを入れてみて、後から不要な機能は減らしていくことはできると思う。始めから予算を安くして議員が努力して適応しないといけないのか。

榊谷議員：クラウドサービスについて議会の中でそれほど重要ではないのではという意見は塚崎議員と同意見。事務局の判断をお聞きしたいがいかがか。

大野議員：もっと具体的に質問した方がいい。

榊谷議員：結局紙で印刷してしまうと本来のペーパーレスにならないとは非常に思う。予算化のために今判断しないといけないわけなので。

井上会長：色々な意見が出たが、チームのメンバーからマイクロソフト365が良いという意見は。

大野議員：まだほかにも議題があるので、この議題は次回の会議にしてはいかがか。

片岡議員：そうすると来月までチームは何をすればいいのか。チームとしてはこれがベストという結論。教えてもらいたいことがあれば出してほしい。

梅村副会長：クラウドサービスを重視するのは議員活動にどう結びつくのか、どう利点があるのかをもう少し説明してほしい。

片岡議員：現在使用しているラインワークスは試行的なもの。しっかりしたものを使用して議員間で連絡を取りたいという意図もある。今メールでスケジュールを管理しているがこれも一元管理したい。その機能も含まれているのがマイクロソフト365。確かに閲覧機能は劣るが、閲覧できないわけではないし、総合的に見て閲覧機能に特化したものではなくクラウドサービスも入っているものが良いのではないかと判断した。あとはここに載せてないが容量の問題もある。サイドボックスとスマートディスカッションは容量が少なく、半年分ぐらいの資料しか保存できない。江南市は半年前のものは削除して運用している。容量は追加できるが追加すると高額。マイクロソフト365は最初から容量が多く、それも金額に含まれている。10年以上、議案や全員協議会など全ての資料が保存で

きる容量があるのも大きな要因である。総合的にマイクロソフト365が良いという結論になった。

梶谷議員：今日結論を出した方がいいのか。次回でも間に合うのか。

関戸議員：来年の9月定例会から実施したいので、7月から導入したい。

梅村副会長：当初予算に上がっていないといけないということか。

関戸議員：当局側としては、ペーパーレス化した時に減額できる人件費、紙代等をシステム費用に充てるという考え方。

井上会長：最終的には多数決か。今は纏まってないが。

片岡議員：全部触っている。触ってどうだったか。

谷平議員：私も得意ではないが、全部資料はさっと見られた。現実、自分が追いつけるかは定かではないが、扱いは教えて頂けるということなので安心して。費用対効果も含めて話し合った結果である。

塚崎議員：タブレットは持ち帰りできないと聞いていたが、持ち帰れるのか。

片岡議員：使用するタブレットは、今のところ8階と7階での運用で、持ち帰りできないことを考えている。高額なものなので故障のリスクを避けようという意図。自宅のパソコンからもログインして使用できる仕組みにしようと思っている。

井上会長：ICTチームが何度も会議を開いて検討し、これがよいということで出してもらった。私としてはチームの結論を尊重したい。

日比野議員：半年分しか容量がないと、去年の資料と見比べる時に致命的だと思うが。

塚崎議員：高額になるが、サイドボックスで容量を上げて予算を組むこともできるのでは。容量の項目があり、それが重点項目になっていたのであれば分かるが、予定表等が重点項目になっているので、いかがかと。

大野議員：別の議論をする。購入にあたり何年の使用を想定しているのか。

関戸議員：行政側に合わせて、5年から6年になるかと。

須藤議員：ICTチームで何度も集まり検討したが、反対する人がいるのであればなしにしたほうがよい。

井上会長：なしにしたほうがよいという意見ではなく、より良いものということで意見を言ってくれているが、15人で判断を一致させるのがなかなか難しい。

谷平議員：チームで分けてやっている意味がないのでは。始めから全員でやればよかったのでは。

梅村副会長：チームの意見は尊重すべきであるが、チームはあくまでも提案を作るところという位置づけである。全員で議論して合意をして決まっていけるものである。

井上会長：総合すると、ICTチームの意見を尊重して、議会運営員会でもう一度議論して進めてはいかがか。

木村議員：なぜ議会運営員会に持っていくのか。

井上会長：決定は議会運営委員会。

木村議員：合意が前提である。合意しないまま議会運営員会に持ってこられても困る。

大野議員：一度置いて次回決定してはいかがか。

井上会長：次回までに同じ意見になるかは難しいが、結論は次回に持ち越しとする。

②市民参加チーム

井上会長：学校が夏休み期間中のため9月以降に行う。今回は報告なし。

③災害対応チーム

塚崎議員：議会基本条例の見直し、BCPの見直し、BCP訓練についての3つを調整している。議会基本条例の見直しについては、前回提案したが各議員から様々な視点の意見が出たため、今回の提出は見送った。チーム内で意見を聞いていく。BCPの見直しについては、段階を踏んで行っている。その中で防災士の資格取得のための環境整備というのがあり、取得方法の案内を広く知らせていくことが環境整備のひとつになるのではないかと思ひ資料を集めている。議会基本条例推進協議会で合意が得られれば配布したい。今回のメインであるBCP訓練については、皆さんに協力していただきたい。まず前回の災害伝言ダイヤル171のサービスについて、電話番号を統一できないかという意見があったが、統一できないということを確認したので、個々の電話番号から安否確認の登録をしてもらうこととなる。BCP訓練の流れについて資料に基づき説明。

井上会長：8月30日の件については前回配布した資料と合わせて行うことと思う。171は以前全員で訓練した際に色々と問題点もあったが、まだ行うのか。

塚崎議員：BCPに年に1回171をやると明記されている。今回はそれだけでなくストーリー仕立てで対策支援本部の立ち上げや、支援物資運搬の訓練も組み込んでいる。

井上会長：質問はあるか。8月30日は171と市役所参集訓練を行う。防災服等の準備も可能な範囲で対応を。

鬼頭議員：BCP訓練だが、午前8時発災とのことなので、事務局がまず最初に伝言ダイヤルに内容を入れるということによいか。

塚崎議員：事務局が伝言ダイヤルに入れるのは午前8時30分以降になる。

井上会長：議員各位は午前8時30分以降に安否確認を行う。

塚崎議員：議長が登庁して指示を出してからBCPが発動する。議長が登庁し、事務局が集まった段階でBCPがスタートすると考えている。実際の災害時でもかなり混乱の中で動き出すと思うので、シナリオもそれほど時刻をしっかりと決めていない。

梅村副会長：とにかく災害伝言ダイヤルを午前8時半以降、気にして定期的に聞いてほしい。いつどこで内容が入っているか分からないし、内容が変わる。伝言ダイヤルの内容を聞き、安否確認の依頼があれば安否確認を入れてほしいし、招集依頼があれば招集された関係議員は参集してほしい。終盤には全員招集される伝言を入れる予定ではある。

木村議員：その日の都合もそれぞれあると思うので、その場合は登庁できないという連絡を災害伝言ダイヤルで行う。臨機応変にそれぞれの立場で行ってほしい。

塚崎議員：表を回覧するので、当日災害伝言ダイヤルに登録する電話番号を記載してほしい。IP電話番号、携帯電話番号、自宅電話番号、いずれも可能。

(3) 常任委員会からの連絡について

水野議員：総務・産業建設常任委員会の行政視察先が宮城県石巻市と女川町に決まった。日程は10月29日(火)と30日(水)の2日間。この後に協議会を行って委員に説明予定。

片岡議員：厚生・文教常任委員会の行政視察は、11月5日(火)と6日(水)の2日間。5日は宮城県岩沼市で子どもの第3の居場所についてと防災・減災について、6日(水)は東京都練馬区で認知症支援事業と防災カレッジについて視察を行う。

(4) 今後の予定について

井上会長：資料に基づき説明。10月9日と12日の意見交換会については次回に日程と役割の割り振りを行う。

事務局：議会報告会については、さくらの家を午前中長寿介護課が使用するが、午後から使用可能とのことで長寿介護課と調整・依頼済み。市広報10月号にて周知する。

井上会長：何か質問はあるか。

梶谷議員：11月14日の京都府南丹市の広報・広聴委員会からの視察依頼はチームで受けるのか広報委員会で受けるのか。

井上会長：聞いている。広報委員会で対応してもらおう。

(5) ふれあいトークについて

井上会長：市民プラザの館長から 11 月 22 日（金）に開催したいという依頼があった。日程と会場を確定したいとのことなので、受けたと思うがよろしいか。

(異議なし)

井上会長：ではご予定をお願いします。内容については今後協議する。

(6) その他

・ 請願処理の方法について

井上会長：片岡議員と事務局にまとめていただいた資料を配布する。

事務局：請願の処理経過と結果について報告時期の目安を設定し、「岩倉市議会請願書及び陳情書取扱要綱」の第 8 条の条文について素案を作成した。

井上会長：質問等あるか。

梅村副会長：様式 1 はなかったということか。

事務局：様式 1 で報告を受けた実績がなく実態に合わないため削除した。

井上会長：では要綱はこの案のようにする。

・ 議員互助会研修について

須藤議員：出発時刻は。

事務局：前回大野市へ視察したときと同様、出発は午前 9 時頃になるかと思う。大野市に昼頃到着し、先方議員と交流しながら昼食をとり、その後テーマについて意見交換を行う。大野市を午後 3 時頃出発し、岩倉市に午後 6 時頃到着予定。道路状況によっては遅れる可能性もある。

梶谷議員：できるだけ早めに出たほうがよい。大変混雑する。

井上会長：集合を早くして帰りを早くすることも検討できる。

塚崎議員：食事の時間を早めることはできないか。

片岡議員：先方の都合も伺いながら調整して案を出していただきたい。

井上会長：11 月 12 日は終日予定を空けていただきたい。

10 その他

関戸議員：10 月の意見交換会について、日程の割り振りのみしていただきたい。サポーターから議員がどちらに出るのか聞かれているため。

井上会長：出席する日程に挙手を。9 日は木村議員、大野議員、日比野議員。

12 日は残り全員。役割分担は次回行う。